

# 業務部速報

発信者》JREU  
仙台地本業務部 / 湯ノ目  
〒983-0852  
仙台市宮城野区榴ヶ岡1-4-3  
TEL 022-297-0155  
FAX 022-291-3070  
JR 031-3981~3  
FAX 031-3980  
2018年 4月 26日

## 「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について」【提案】①

2018年4月26日13:30～、「保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について」提案を受けました。今後、解明交渉や基本交渉など、団体交渉を行っていきます。不明な点ございましたら、連絡を下さい。

### 保線部門におけるメンテナンス体制の最適化について

2018年4月  
仙 台 支 社

保線部門においては、メンテナンス体制の再構築により、当社は設備管理、パートナー会社は施工の技術集団として業務を実施する体制を構築し、その後のメンテナンス体制の改善を経て、効率的な業務執行体制を構築してきたところである。

今後、当社を取り巻く環境はさらに変化し、生産年齢人口の減少に伴う鉄道事業収入への影響のみならず、設備メンテナンス部門における従業員の確保もさらに厳しくなることが想定される。

このような状況を踏まえ、将来にわたってメンテナンス体制を維持継続するためには、より一層効率的な仕組みによる生産性の高い業務執行体制をパートナー会社と一体となって構築していくことが必要である。

そのために、最新技術を用いた新たなメンテナンス手法の導入及び閑散線区における保守業務と組織体制の見直しを実施するとともに、職場感覚と技術的な判断にもとづいた適切な線路メンテナンスの実践を支援する体制を構築することで、メンテナンス体制の最適化を図っていく。

#### 1 実施事項

##### (1) 線路設備モニタリングによる新たなメンテナンス手法の導入

線路設備モニタリング装置を活用し、新たに同装置による線路総合巡視を在来線の巡視方法の一つに加え、巡視及び検査を全体として適切な頻度で実施するなどの検査体系の見直し等を図る。

##### ① 検査体系の見直し

徒歩等による線路総合巡視の周期延伸及び材料検査との組合せ実施

##### ② 引継検査の業務見直し

工事施工後の軌道の仕上り状態検査（引継）における現場での確認業務の一部省略

##### ③ 保線技術センター業務の効率化

線路設備モニタリングによる効率的なメンテナンスの実施による業務の見直し

##### (2) 閑散線区※の保守業務の見直し

閑散線区においては、パートナー会社との連携をさらに深めることで、より効率的に業務を推進できる体制とすることとし、現在移管している業務に加えて、修繕要否の判別を含む軌道の検査および修繕をパートナー会社で実施する。なお、設備管理に対する最終的な判断は、当社が実施する。

※ 閑散線区：年間通過トン数5百万トン未満で輸送密度が4千人/日規模以下の線区

##### ① 保守業務の移管拡大

徒歩等による線路総合巡視及び当社で実施してきた検査等保守業務のパートナー会社への移管

##### ② 認定制度の導入

パートナー会社従事者に対する認定線路技術者制度の創設

##### ③ 組織等の見直し

移管拡大による重複業務の解消、一部の保線技術センター及び左沢線営業所施設社員の集約と線路科のエリア見直し、及びエリアセンターの新設

##### (3) 保線部門の技術支援体制の再整理

世代交代が進む保線技術センターにおいて適切な技術判断ができる体制をより効率的に確立するため、これまで進めてきた人材育成の強化に加え、専門的な技術支援を可能とする体制を整備する。これに伴い、代表保線技術センターの技術教育科の役割を見直す。

#### 2 実施箇所

左沢線営業所、郡山保線技術センター、福島保線技術センター、仙台保線技術センター  
小牛田保線技術センター、会津若松保線技術センター、山形保線技術センター  
新庄保線技術センター、仙台新幹線保線技術センター

#### 3 実施日

##### (1) 「閑散線区の保守業務の見直し」および「技術支援体制の再整理」

2018年7月1日

##### (2) 「線路設備モニタリング」

線路設備モニタリング装置の車両への搭載後順次

#### 4 要員関係

##### (1) 標準数

別紙による

##### (2) 要員の運用

要員の運用については、鉄道事業部門および出向等に運用する。

#### 5 説明等

関係社員に対しては、説明会等により周知する。

その他の社員に対しては、点呼・業務掲示等より周知する。